

# 難民について考えよう!

「難民」ってよく聞くけど、  
実際どんな人を指すんだろう?



## 難民とは

難民とは、「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国に在ると迫害を受けるかあるいは迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れた」人々と定義されています。(「1951年の難民の地位に関する条約」より)

また、同じ理由で自国の別の地域に避難している人々を国内避難民と言います。

仕事を見つけないなどの理由で、今より良い生活を求めて自発的に移動する移民に対し、難民は、命を守るために故郷を離れざるを得なかった人々です。



難民とは  
(動画)



## 難民条約って?

20世紀、国際社会は難民に関するさまざまな指針や法律、慣習法の一つ一つをまとめ、難民たちが公正に扱われ、その人権が守られるような基盤を作ることになります。

こうした取り組みは、国際連盟の時代の1921年に始まりました。そして第二次世界大戦後の1951年7月、欧州で発生した難民を保護することを目的に、スイスのジュネーブで開かれた国際会議の場で、難民に関する最初の国家間の取り決め、「難民の地位に関する条約」が採択されたのです。

1967年に採択された「難民の地位に関する議定書」は、欧州だけでなく世界中の難民の保護を目的に、1951年の条約にあった地理的・時間的制約をなくしたもので、通常、この二つをあわせて「難民条約」といいます。

難民条約では、難民の法的地位が包括的に定義されており、難民の取り扱いに関する最小限の人道基準を設定しています。



スイス・ジュネーブでの「難民の地位に関する1951年の条約」の調印の様子。©Arni/UN Archives

## 数字で見る難民情勢



故郷を追われた人(2022年末時点)

約1億840万人

男性 49%

女性 51%



18歳未満の子ども 41%

### 主な出身国

	シリア	650万人
	ウクライナ	570万人
	アフガニスタン	570万人
	ベネズエラ	550万人
	南スーダン	230万人

### 主な受け入れ国(受け入れ人数)

	トルコ	360万人
	イラン・イスラム共和国	340万人
	コロンビア	250万人
	ドイツ	210万人
	パキスタン	170万人

(UNHCRの年間統計報告書「グローバル・トレンド2022」より)  
※毎年6月下旬に数字が更新されます。

## 1億840万人 世界で故郷を追われた人

詳しいデータは  
こちらから



2022年末時点で、紛争や迫害、暴力、人権侵害、公共の秩序を著しく乱す事象により、強制移動に直面した人の数



## UNHCRって?



国連の難民支援機関である国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR: United Nations High Commissioner for Refugees) は、難民条約の原則に基づき、故郷を追われた人の保護と支援、難民問題の恒久的解決に向けた活動に取り組んでいます。

UNHCRのロゴは、「人を守る人の手」を意味します。世界中のたくさんの手が難民を守る手となってほしいという願いを込めて作られました。

## 日本人初の難民高等弁務官 緒方貞子さん



国連難民高等弁務官就任当時  
©UNHCR/E.Brissaud

緒方貞子さんは、日本人初の国連難民高等弁務官として、民族紛争が相次いだ冷戦後の1991年から2000年までの10年間の任期を務めました。

緒方さんは、難民の方の声に耳を傾け彼らと共に解決策を探っていく「現場主義」を大切に活動しながら、難民問題と平和構築には深い関係があることを、世界中に訴え続けました。



UNHCRの歴史を  
動画でも見てみよう!

## UNHCRについて本で読んでみよう!

『紛争・迫害の犠牲になる難民の子どもたち』

『難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方』

『世界の難民をたすける30の方法』



難民の子どもたちの絵や言葉とともに、難民とはどんな人か、なぜ避難を余儀なくされてしまったのか、また、難民を支援するUNHCRやパートナー団体の役割について解説されています。

(UNHCR 著、UNHCR 駐日事務所 協力/合同出版)



緒方貞子さんの生い立ちや活動、UNHCRの役割について、UNHCR 退官後の数年間、緒方さんのパーソナル・アシスタントを務めた元UNHCR 職員が執筆。国連難民高等弁務官就任時と退官時の英語のスピーチ (日本語訳付き) も掲載されています。(中村恵著/平凡社)



難民生活の実際や、世界や日本の難民支援の現状、難民と社会がどう共生していけるかについて、当事者の声や具体例とともに書かれています。

(東洋英和女学院大学名誉教授、滝澤三郎)

# UNHCR の役割と活動

UNHCR は、難民を保護するだけでなく、彼らが自分たちの力で生活できるようになるまでサポートしています。



## 支援を必要としている人がいたら…

自国から保護してもらえない難民や、国内避難民、どの国とも法的なつながりがない無国籍者などの人々は保護・支援を必要としています。



## 避難所では…



避難生活を送るために必要な住居や、水、食料を提供するだけでなく、すべての難民が医療や教育にアクセスできるような環境作りもしています。



## 目指すのは…

UNHCR は難民の保護と支援に力を入れていますが、最終的な目標は難民が生活を再建できる解決策を見つけることです。

自主帰還したり、避難している国や第三国に定住できるよう家族の再統合や教育、職業訓練を支援しています。



彼らの意思に反して迫害の恐れのある場所へ送り返されることがないように、住居などを提供し、保護しています。

## UNHCR と社会の連携

世界各地で難民が増え続け、問題が複雑化する中、国際社会が一体となって難民保護に取り組んでいくことが大切です。そこで、2018年12月の国連総会で、難民や受け入れコミュニティの支援に社会全体で取り組むための国際的な取り決め、「難民に関するグローバル・コンパクト」が採択されました。

UNHCR 駐日事務所も、日本で難民を支援するために活動している人や企業、団体、政府、自治体、学校、学生の方たちと協力しながら、日本にいる難民の方を支援したり、日本や世界に支援の輪が広がるように活動しています。

グローバル・コンパクト  
についてはこちらから



ユニクロと全国の学校が協力して難民に服を届ける「届けよう、服のチカラ」プロジェクトを毎年行っています。

©UNHCR/Hossein Eidizadeh

**民間セクター**  
企業、シンクタンクなど

**国連 UNHCR 協会**  
UNHCR の活動を支える  
日本での公式支援窓口

©国連 UNHCR 協会

難民の権利を守るため、政府の仕組みづくりの提案などもしています。

**教育機関**  
大学、大学院、  
専門学校、語学学校など

©関西学院大学

UNHCR のプログラムを通して、日本の大学で学ぶ難民の学生たち

**公的機関**  
日本政府、JICA、  
駐日大使館、駐日国連機関、  
自治体など

©UNHCR

©UNHCR/Jordi Matas

**UNHCR 親善大使**  
ギタリスト MIYAVI

## 知る



難民が生まれる背景にある政治や宗教、文化的・社会的問題など、様々な角度から調べてみよう！

世界や日本の難民について調べる  
ニュースや新聞、本、難民を支援する団体のホームページなどから情報を集めてみる

UNHCR や JAR のウェブページでは、難民について学ぶ上で役立つ情報を紹介しています。



UNHCR

JAR



私たち一人ひとりに

できることがたくさんあります！

## 考える

どんな障壁があるのか、自分たちには何ができるか、具体的に考えてみよう！

家族や友人と難民について話す  
難民の方や、難民支援に携わっている方と交流する

## 行動する

日本全国には難民支援に取り組む学生団体がたくさんあります。「ユースなんみんプラットフォーム」で調べてみよう！

学校や友人、家族と一緒に寄付をする  
難民支援のイベントに参加・企画する  
難民の方がやっているビジネスを支援する  
国内外のボランティアに参加する



UNHCR 駐日事務所

〒107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 ウェスレーセンター



国連 UNHCR 協会

〒107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 ウェスレーセンター



@unhcrorjp



@UNHCR\_Tokyo



@japanforunhcr



unhcr.org/jp/